

横浜市大混声合唱団が創団 50 周年記念メモリアルコンサート

混声合唱団 OB・OG 会副会長 鎗木陽一(昭 58 医)

市大混声合唱団の創団 50 周年記念コンサートが 2012 年 2 月 25 日(土)、鎌倉芸術館小ホールで開催されました。半世紀の歴史を刻んだ記念にと、前身であるメンネルコールの先輩方にも参加を呼びかけ、現役学生も含め総勢約 170 人の参加となり、会場でも約 350 人の人たちにご来聴をいただきました。

当日のプログラムは、まず現役による演奏。続いてメンネルコール OB、混声合唱団 OB・OG ステージと進み、最後は「ALL 市大合同ステージ」と銘打って、参加者全員で歌い上げました。

市大合唱団のルーツは、1949 年に市大の一般教養科目の音楽を担当された小船幸次郎先生(当時すでに横浜交響楽団の常任指揮者であった「ハマのマエストロ」)のもとで、12、3 人の学生が合唱を始めたことだといわれています。その後、1951~53 年入学の学生 15 人が小船先生のもと男声合唱を始め、1954 年に横浜市立大学男声合唱団の名前で第 1 回演奏会を開きました。翌年にはメンネルコールと名前を変えて、関東合唱コンクール 3 位入賞を果たしました。

当時は、横浜市大音楽協会の傘下に、男声合唱部・女声合唱部(のちに混声合唱部)・器楽部・音楽鑑賞部の 4 団体があり、その中から 1961 年に混声が独立し、現在の混声合唱団が生まれました。1965 年には常任指揮者にお迎えした武島道矩先生のもと第 1 回定期演奏会が開催され、2013 年 1 月で 45 回を数えています。この 50 年の歴史の中で、メンネルコールは休部となり、混声合唱団も団員不足から何度か消滅の危機がありましたが、それらを乗り越え、このたび 50 年の歴史を刻むことができました。

近年は、市大混声の定期演奏会にも後輩達を応援しようとメンネル OB の先輩達が多くご来聴くださるようになり、混声 OB・OG 合同ステージが企画された 2007 年 12 月の第 40 回定期演奏会には、31 人もの音楽協会 OB・OG が応援に来てくださいました。そんな絆もあり、今回のオール市大合唱演奏会の実現に至りました。混声 OB・OG 会の世話役以外の多くの市大 OB・OG の方々にはご協力をいただきましたことを、お礼申し上げます。と思います。

最初の常任指揮者である武島道矩先生は、第 8 回までの定期演奏会を指揮されましたが、今回のコンサートの合同のステージでも、モーツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を車椅子で指揮をしてくださいました。終了後の親睦会にも参加され元気なお姿を見せておられましたが、2013 年 3 月 9 日に老衰のため自宅で亡くなりました。享年 85 歳でした。謹んでご冥福をお祈りします。(完)